

2013年7月 吉日

各 位

一般社団法人 J C 総研
〒162-0826
東京都新宿区市谷船河原町 11 番地
飯田橋レインボービル 5 階
電話：03-6280-7254

一般社団法人 J C 総研
第 27 回公開研究会について（ご案内）

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃 当研究所の事業につきまして格別のご指導・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当研究所では協同組合経営研究誌『にじ』2013 年冬号にて「これからの『地域づくり』を問い直す」をテーマに特集を企画しております。その前段として協同組合研究者・実践家等との間で幅広く意見交換し議論を深めるため下記のとおり公開研究会（第 27 回）を開催することとしました。

つきましては、日本社会の将来像と協同組合運動のあり方を展望し、広く意見を交したいと存じますので、関係者の皆様に ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

敬 具

記

1. 開催日時： 2013年9月21日(土) 13:00～18:00時
2. 開催場所： 明治大学(駿河台)リバティータワー 9 F 1094号教室
3. 研究課題： 「これからの『地域づくり』を問い直す」
4. 報 告：
 - ・ 第 1 報告 「内発的な地域の発展とは何か」(仮題)
報告者 守友 裕一 氏 (宇都宮大学大学院教授)
 - ・ 第 2 報告 「過疎地の潜在資源の顕在化と協働による自立促進の実践～福井県池田町の事例～」(仮題)
報告者 丸山 茂樹 氏 (JC総研 客員研究員)
 - ・ 第 3 報告 「離島・半島等条件不利地域における地域づくり」(仮題)
報告者 工藤 貴史 氏 (東京海洋大学 准教授)
5. 参集範囲： 協同組合運動の研究者、協同組合・関係団体の役職員等
6. 事務局： 竹内久和 tel; 03-6280-7289 Eメール; k-takeuchi@jc-so-ken.or.jp
山田 聡 tel; 03-6280-7291 Eメール; s-yamada@jc-so-ken.or.jp

以 上

第1報告 「内発的な地域の発展とは何か」(仮題)

報告者 守友 裕一 氏(宇都宮大学大学院教授)

(報告内容(予定))

これまで地域づくりのあり方に大きな影響を与えてきた「内発的発展論」について、その意義・到達点と今日的な課題を明らかにしたうえで、新自由主義的な地域政策・地域経済の復興策に抗するための内発的な地域づくりの考え方について考えるとともに、非営利協同組織(既存の協同組合、NPO等)の関わり方について提起していただく。

・第2報告 「過疎地の潜在資源の顕在化と協働による自立促進の実践～福井県池田町の事例～」(仮題)

報告者 丸山 茂樹 氏(JC総研客員研究員)

(報告内容(予定))

過疎化が著しかった福井県中央部に位置している池田町は、地域にある自然資源・伝統文化資源・人的資源を有効に組織化することを通じて多面的な活動の展開をしている。例えば自家用だった野菜が毎日出荷されるようになり、自然資源が観光資源として活かされ、能田楽・能面などの伝統文化資源がイベント企画を通じて観光客を増加させている。また生ごみや畜産糞尿を肥料として産業化するなどの成果をあげている。こうした地域資源を顕在化させる多面的な活動が展開される一方で過疎化もすすんでおり、過疎地域における地域活性化をめぐる課題と解決方向について考察を行う。

・第3報告 「離島・半島等条件不利地域における地域づくり」(仮題)

報告者 工藤 貴史 氏(東京海洋大学准教授)

(報告内容(予定))

条件不利な漁村地域の状況およびそれらの地域における活性化策の動向を整理しながら、条件不利地域における地域づくりの課題と展望について報告いただくとともに、非営利協同組織(既存の協同組合、NPO等)に期待する役割や課題についても触れていただく。

(※注)

上記報告内容(予定)は、JC総研事務局から各報告者に依頼した内容です。実際の報告内容と異なる可能性もありますので、あらかじめご承知おきください。